





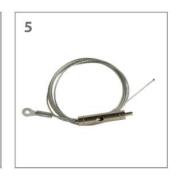
## 内容物











- M3 マイクロホン本体
- ② JBM3 ジャンクションボックス
- ③ ジャンクションボックスカバー
- ④ ブレークアウトケーブル
- ⑤ セーフティワイヤー

※ジャンクションボックス-ブレークアウトケーブル間の結線は一般的な CAT5 や CAT6 ケーブルでも動作しますが、STP(シールド付き)ケーブルを推奨します。

#### 本体

Audix M3 には3つの独立したマイクが搭載されており、ミキサーなどに接続することができます。付属のブレークアウトケーブル④は、ターミナルブロックを使用して DSP ミキサーなどに接続できるように設計されています。

M3 マイクロホンは 18~52V のファンタム電源が必要です。

# マイクロホンの設置高さについて

M3 は様々な高さに吊るすことができますが、床上 2.4m~2.6mの高さを推奨します。 広範囲の集音を行う場合、M3 は半径 3m 程度まで集音することができます。 しかし多くの場合において、ノイズの抑制のためには M3 を 2 台使用し集音エリアの半径 を小さくするほうが理想的です。

### 取り付け手順



1. 天井を $\phi$ 16mm 開口します。



2. 開口部に合わせて、天井裏に 3. M3 のスクリューから大ナッ ジャンクションボックス (JBM3) を配置します。



トを取り外し、開口部からボ ックス内へ通します。



上図の様にスクリューを固定 します。





4. 取り外した大ナットを用いて 5. 7pin6 コネクタを接続します。 6. M3 マイクのおおよその高さ を決め、余ったケーブルをボ ックス内に巻き収めます。



け、Cat ケーブル(STP 推奨) を接続します。



売)がある場合は取り付けま す。



7. ボックスのカバーを取り付 8. 専用プレナムハウジング(別 9. M3マイクの高さを、小ナット を緩めてケーブルを出し入れ して調整します。



ら小ナットを締めて固定しま す。(締め付けすぎないように 注意してください)



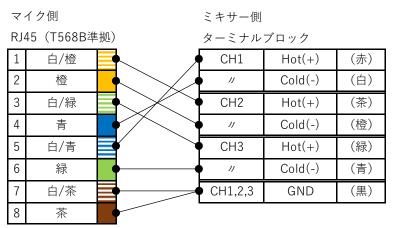
10. M3 マイクの位置を決定した 11. マイクの向きを確認します。 Ch1 は Audix ロゴの真下に、 120 度間隔で Ch2.Ch3 が配置 されています。



12. ミキサー側はブレークアウト ケーブルを用いて接続します

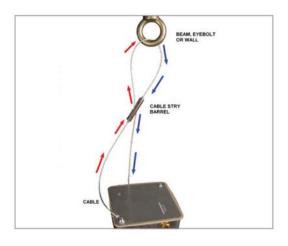
#### ブレークアウトケーブル

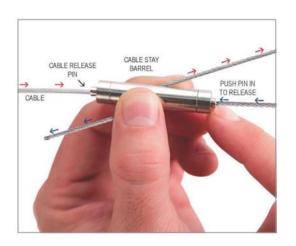




ブレークアウトケーブルを自作する際は上記のピンアサインを参照してください。 長距離でも音質劣化を少なくするためには、シールド付きケーブルを使用してください。

#### セーフティワイヤー





セーフティワイヤーは、アイボルトやハンガーなどに巻き付けて落下防止に使用します。 ケーブルステイバレルのピンに通して、側面から出たワイヤーを引っ張ってワイヤーの長 さを調節します。緩めるときは、両端にあるリリースピンを押してください。

